

## 三菱パッケージエアコン別売部品 加湿器取付説明書

|      |             |
|------|-------------|
| 適用機種 | 4方向カセットBタイプ |
|      | 4方向カセットAタイプ |

※使用できない機種があります。  
PLA-J・AA形、PLZB-AA形、PLHB-AA形については使用できません。  
組込が必要な際は特殊対応いたしますので、当社営業窓口にご相談ください。

### 安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

|           |                                      |
|-----------|--------------------------------------|
| <b>警告</b> | 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。   |
| <b>注意</b> | 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。 |

- 取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

### 警告

|   |   |
|---|---|
| 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。                               | 取付けは、この取付説明書に従って確実にこなう。                     |
| ●お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。 | ●取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。 |
| ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。                                |   |
| ●頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。                   |   |

### 取付け(移設)・電気工事をする前に

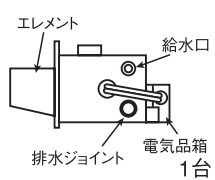



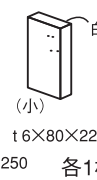
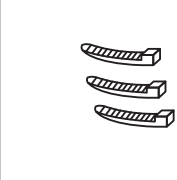
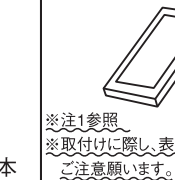
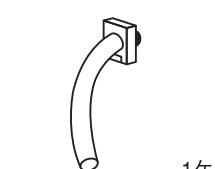
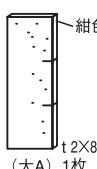
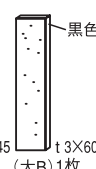
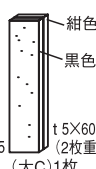

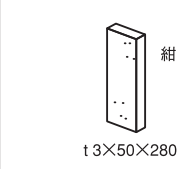
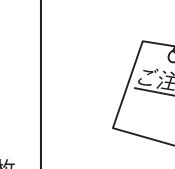
### 注意

|  |   |
|--|---|
| <p>冷媒配管工事がある場合の断熱は結露しないように確実にこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●不完全な断熱施工を行なうと配管等表面が結露して、露タレ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。</li> </ul>          | <p>電源配線工事がある場合は、電流量に合った規格品の電線を使用すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漏電や発熱・火災の原因になることがあります。</li> </ul> |
| <p>ドレン配管工事がある場合は、取付説明書に従って確実に排水できるよう施工し、結露が生じないよう保温すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になることがあります。</li> </ul> |   |

## 1 部品の確認

この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。  
\*搬入時は取付ける場所まで梱包のまま搬入してください。やむを得ず開梱して搬入する場合は、エレメント部分が傷つかないように取扱いに十分注意してください。

※注1. ②、⑤は取付ける室内ユニット本体の形名によって異なります。詳細は[3] ページ目 **3 加湿器取付手順** をご覧ください。

|  |  |  |   |   |
|--|--|--|---|---|
| <b>① 加湿器本体</b><br>    | <b>② タッピングネジ</b><br>4×16 ※注1参照<br> 7ヶ<br>4×25 ※注1参照<br> 6ヶ   | <b>③ 配管用断熱材</b><br>灰色<br> (大) t3×120×250 各1枚<br>白色<br> (小) t6×80×220 各1枚 | <b>④ バンド</b><br> 3本     | <b>⑤ スペーサー</b><br> 1ヶ<br>※注1参照<br>※取付けに際し、表裏がありますので、ご注意ください。 |
| <b>⑥ 排水ホース</b><br> 1ヶ | <b>⑦ 本体開口部断熱材</b><br>紺色<br> t2×80×345 (大A) 1枚<br>黒色<br> t3×60×345 (大B) 1枚<br>紺色 黒色<br> t5×60×345 (2枚重ね品) (大C) 1枚<br>紺色 黒色<br> t5×60×130 (2枚重ね品) (小) 2枚 | <b>⑧ 排水ジョイント部断熱材</b><br> t3×50×280 紺色 1枚   | <b>⑨ ご注意ラベル</b><br> 1枚 |   |

## 2 据付前の準備

### 1. 現地手配部品

- (1) ストレーナ (メッシュサイズ50以上) …水中のゴミを捕集するため、メンテナンスしやすいところにストレーナを必ず取付けてください。
- (2) 止水用バルブ …シーズンオフ、または緊急時等の為に加湿器の配管上流側に止水用バルブを必ず設けてください。
- (3) シスターンタンク …給水は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、必ずご使用ください。
- (4) 減圧弁 …供給水圧が0.5MPa以上の場合は減圧弁を取付けて0.05MPa～0.5MPaに調整してください。

### 2. 留意事項

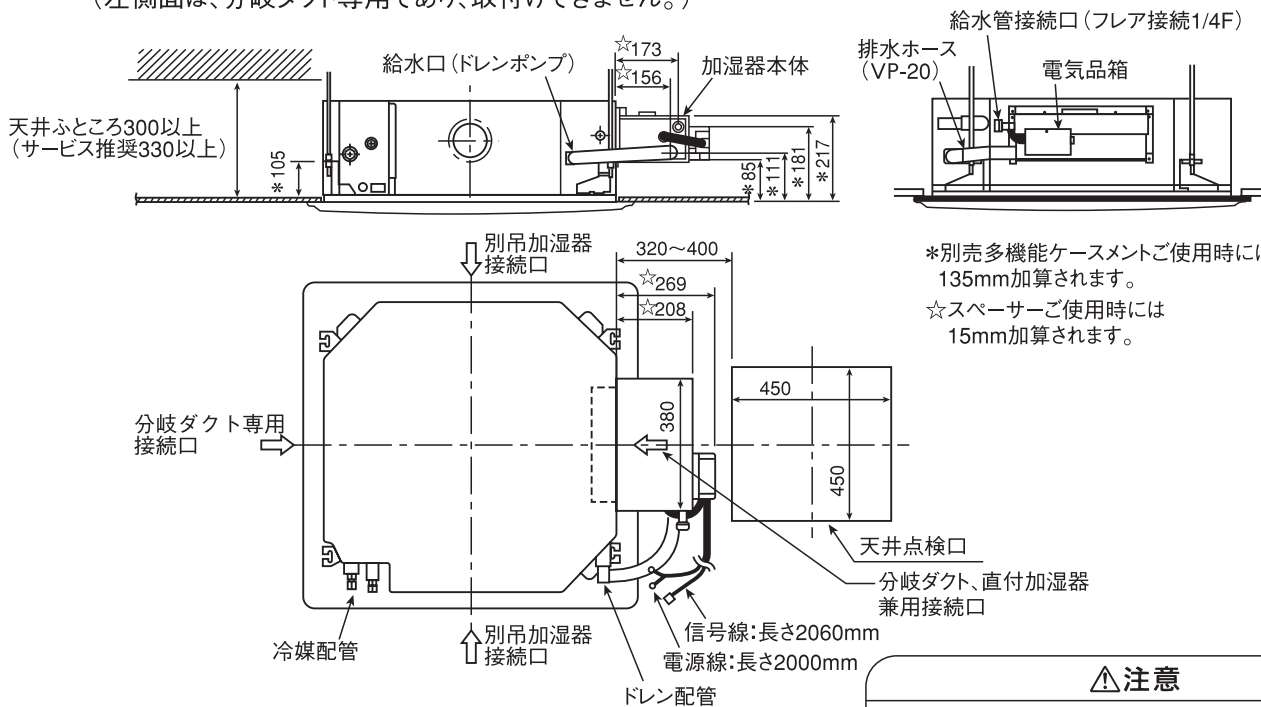
#### 据付スペース

- (1) 加湿器の組込みは、天井材を張る前に必ず行なってください。
- (2) 加湿器の組込みの際し、天井構造の事前検討をお願いします。(天井施工業者様ともご相談ください。)
- (3) 天井点検口を必ず設置してください。

#### 加湿器の取付け

- (1) 本体吊り下げ時は必ず水準器にて水平となるように調整してください。  
(両端の高低差が10mm以上の場合、ドレンパンよりオーバーフローします。)
- (2) 加湿器の取付位置は1ヶ所です。ドレン配管から見て右側面に行なってください。  
(左側面は、分岐ダクト専用であり、取付けできません。)

単位:mm



#### ⚠注意

供給水圧が高いと、水漏れなど故障の原因となります。また、供給水圧が低いと、水量不足によるエレメント劣化の原因になりますので、必ず0.05MPa～0.5MPaの範囲でご使用ください。

#### 給・排水管工事

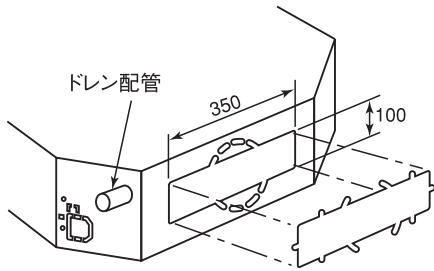
- (1) 供給水質 …市水、上水またはこれと同等以上の水を使用してください。
- (2) 供給水温度 …5℃～40℃
- (3) 供給水圧 …0.05MPa～0.5MPaの範囲でご使用ください。0.5MPa以上の場合は減圧弁を取付けて0.05MPa～0.5MPaに調整してください。
- (4) 止水用バルブ (現地手配) およびストレーナ (メッシュサイズ50以上、現地手配) を必ず取付けてください。  
( 5 給水配管工事 参照)
- (5) 排水には必ず付属の排水ホース⑥をご使用ください。

#### 制約事項

- (1) 室内ユニット分岐ダクト (2ヶ所) のうち、1ヶ所は加湿器取付で使用できなくなります。
- (2) 加湿器を取付けた場合、2方向、3方向吹き出しはできません。必ず4方向吹き出しでご使用ください。  
(能力の低下及び露タレ等が発生する原因になります。)

### 3 加湿器取付手順

1. 室内ユニット本体の取付用カットアウト穴をあけます。

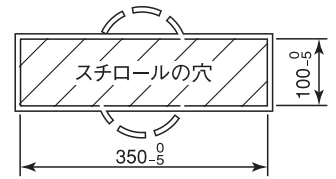


#### △注意

加湿器の取付けはドレン配管から見て右側面に行なってください。左側面は分岐ダクト専用であり、取付けできません。

#### △注意

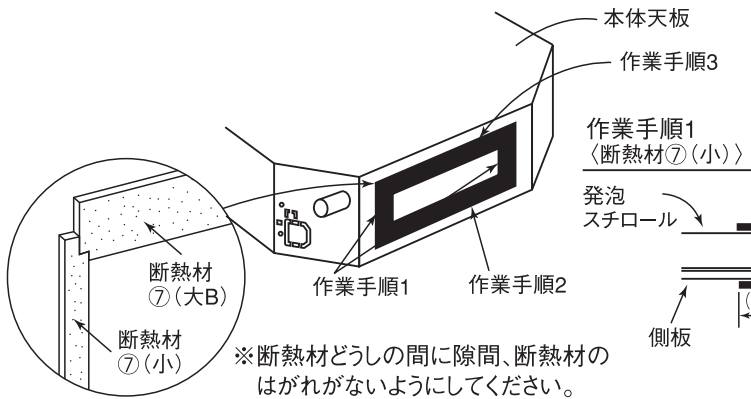
この寸法は必ず守ってください。守らないと水漏れの原因になります。



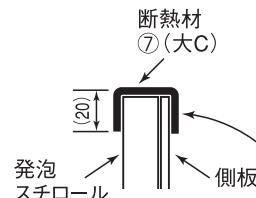
- (1) 100×350角ダクトのスリットがついていますのでニッパー等でスリットを切り落とします。
- (2) 100×350の角穴に合わせてスチロールをカッター等で切り落とし100×350の穴をあけます。(切り粉は充分取り除いてください。ドレンポンプのつまりの原因となります。)

2. 角穴に付属の断熱材を貼ります。

作業手順1→2→3の順に貼り付けてください。

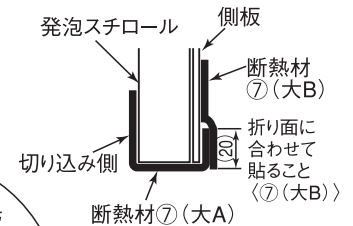


作業手順2  
〈断熱材⑦(大C)〉



断熱材は室内ユニットの側板と内側の発泡スチロールとの隙間をふさぐように貼ってください。

作業手順3  
〈断熱材⑦(大A,大B)〉

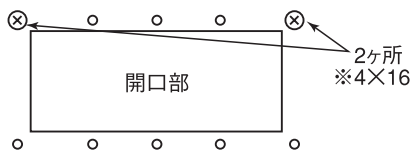


#### △注意

断熱材にはがれ、たるみがないようにしてください。エレメント部に断熱材があたると水漏れの原因になります。

3. 室内ユニットに加湿器を取付けます。

(1) 仮掛用としてネジ②を2ヶ所に取付けます。

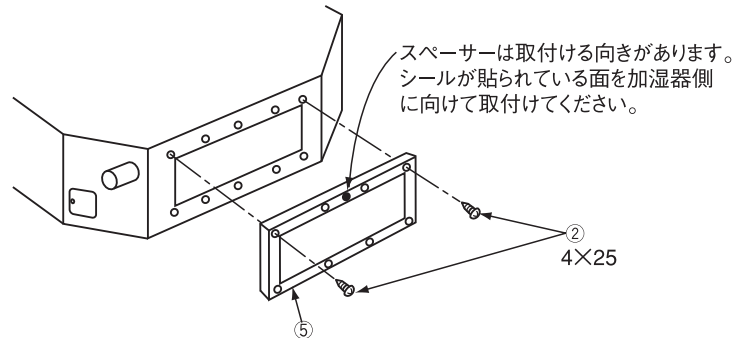


※Aタイプの160形およびPLZ-P140AA形、PLZ-P112・P140AA2形、PLZ-P.AAJ形、PLZ-RP112・RP140AA形、PLFY-P112・P140AM-C2形、MPLZ-RP112・RP140AA形、PLFY-P112・P140AM-E形に取付ける場合はスペーサー⑤を必ず取付けてください。また仮掛用ネジ②は4×25を使用してください。(取付けない場合、故障の原因となります)

(2) 加湿器を取付けます。

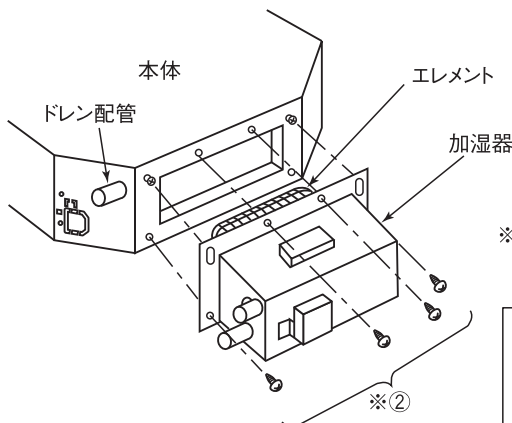
エレメント部分が本体にあたらないように注意しながら仮掛用ネジに引掛けます。

ネジ②の残り4本も使い、加湿器を固定してください。



#### △注意

取付時、エレメントを持ったり、当てたりしないでください。傷ついたり、変形すると露タレの原因となります。



※Aタイプの160形およびPLZ-P140AA形、PLZ-P112・P140AA2形、PLZ-P.AAJ形、PLZ-RP112・RP140AA形、PLFY-P112・P140AM-C2形、MPLZ-RP112・RP140AA形、PLFY-P112・P140AM-E形の場合はスペーサー⑤を共締めしてください。

#### 使用ネジ

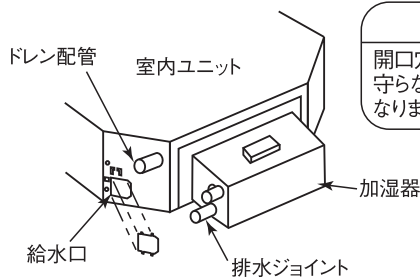
4×16 6本使用：Bタイプ全機種、Aタイプ36～140形(但し、下記形名を除く)

4×25 6本使用：Aタイプの160形およびPLZ-P140AA形、PLZ-P112・P140AA2形、PLZ-P.AAJ形、PLZ-RP112・RP140AA形、PLFY-P112・P140AM-C2形、MPLZ-RP112・RP140AA形、PLFY-P112・P140AM-E形

## 4 排水配管工事

### Bタイプ機種の場合

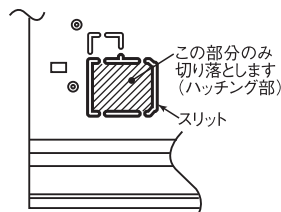
- 室内ユニット本体の給水口用カットアウト穴をあけます。
  - 給水口のスリットがついてますので右【図1】に示す切り落とし部(ハッチング部)をニッパー等で切り落とします。
  - 右【図2】に示す切り落とし部(ハッチング部)のスチロールをカッター等で切り落とし、穴をあけます。  
(切り粉は充分取り除いてください。ドレンポンプのつまりの原因となります。)
- 排水ホース⑥を接続します。
  - 室内ユニット本体側の排水ホース先端部を室内ユニット側板とスチロールの間に引っ掛け、ネジ②(4×16)で固定してください。
  - 室内ユニット側を取付けた後、加湿器側を接続してください。  
排水ジョイントにホースの向きを合わせてください。  
その際、排水ホースがよじれないように取付けてください。



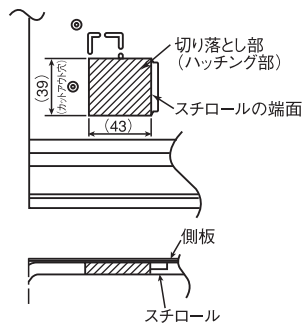
### △注意

開口穴の寸法は必ず守ってください。守らないと風漏れ・露タレの原因となります。

【図1】給水口用スリット切り落とし部分

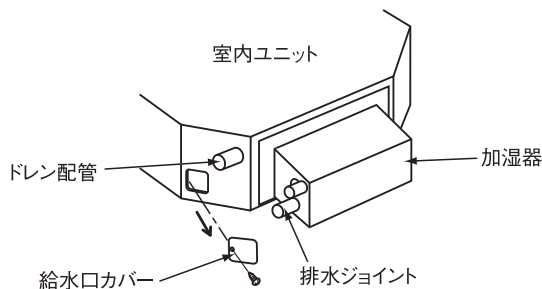


【図2】スチロール切り落とし部分



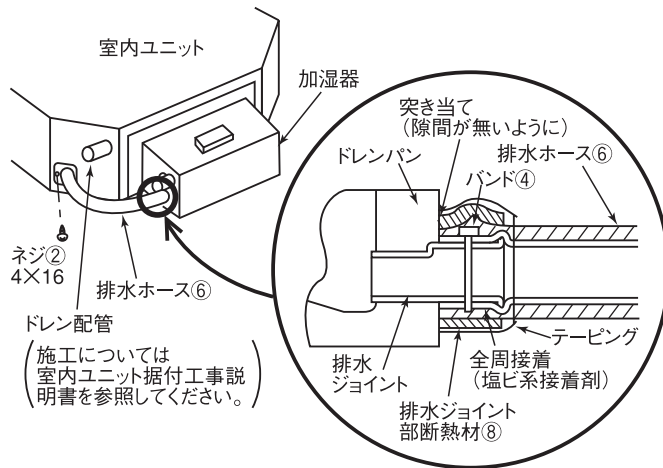
### Aタイプ機種の場合

- 室内ユニットの給水口カバーを取外します。  
(本体取付の給水口カバーとネジは使用しません。)
- 排水ホース⑥を接続します。
  - 室内ユニット本体側の排水ホース先端部を室内ユニット側板とスチロールの間に引っ掛け、ネジ②(4×16)で固定してください。
  - 室内ユニット側を取付けた後、加湿器側を接続してください。  
排水ジョイントにホースの向きを合わせてください。  
その際、排水ホースがよじれないように取付けてください。



### 加湿器側取付手順

- ステップ1：排水ホース⑥を突き当てるようにして排水ジョイントに挿入し、塩ビ系接着剤で接着。
- ステップ2：排水ホース⑥の断熱材をスライドさせ、その内側をバンド④でとめる。
- ステップ3：断熱材を元にもどし、排水ジョイント部断熱材⑧を隙間がないように巻く。
- ステップ4：さらに、断熱材の上からテーピングする。



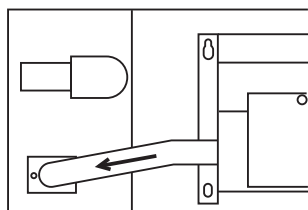
### △注意

排水ジョイント根元に大きな力を加えないでください。(破損した場合、水漏れの原因となります。)

### △注意

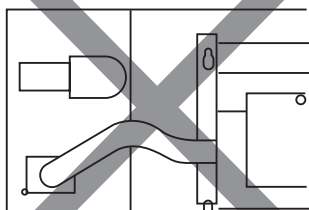
水漏れの原因となりますので、必ず室内ユニット側へ傾斜させるようにしてください。

正しい状態



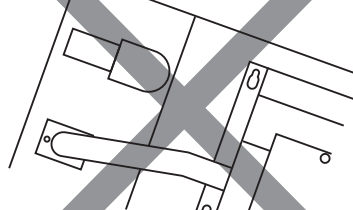
ホースがよじれないこと。

間違った状態



排水ホース途中が持ち上がってる

間違った状態



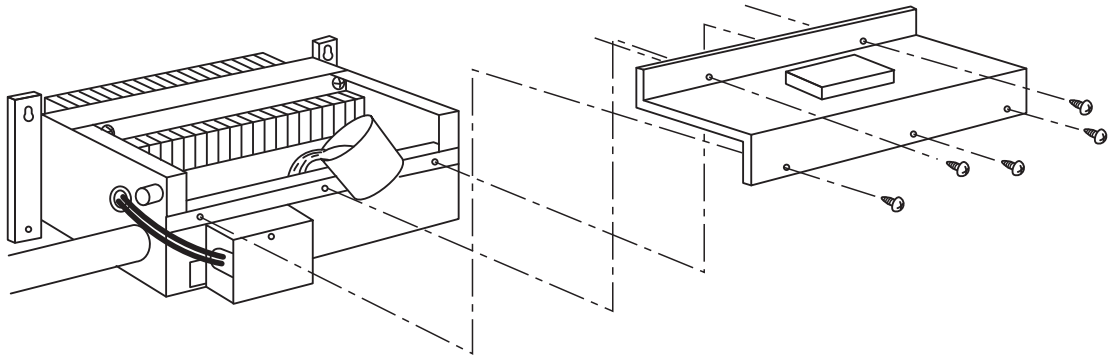
加湿器側へ傾斜

## 4 排水配管工事 のつづき

### 3. 排水性確認

加湿器の蓋を取り外しドレンパンに水（約1リットル）を徐々に注水して、排水性を確認してください。

（ 9 試運転 で室内ユニット本体のドレンポンプから排水されることを確認しますので、それまで水を抜かないでください。）

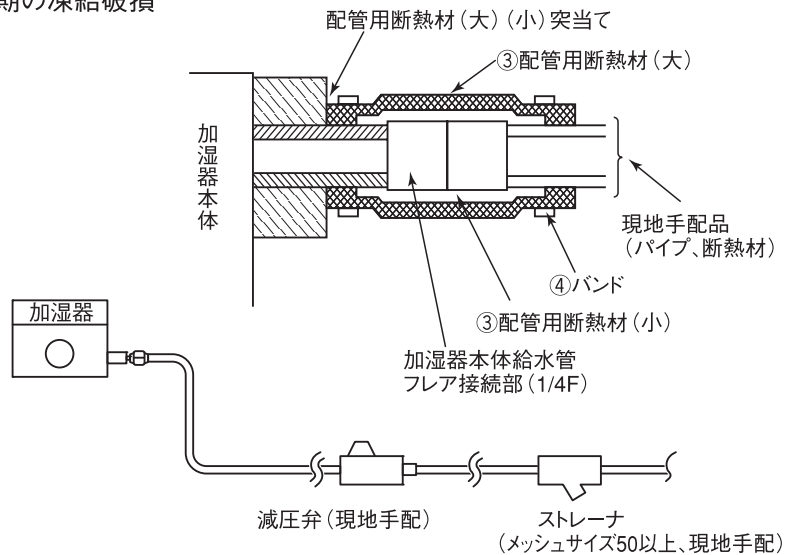


## 5 給水配管工事

- 供給水圧は0.05MPa～0.5MPaの範囲でご使用ください。  
0.5MPa以上の場合は減圧弁（現地手配）を取付けて0.05MPa～0.5MPaに調整してください。
- 加湿器への接続は1/4Fフレア接続です。
- 加湿器給水管の接続はダブルスパナでしっかり締付けます。
- 付属の配管用断熱材③とバンド④を使って配管接続部の断熱を行ないます。  
それ以降につきましては現地手配にて露タレ、冬期の凍結破損等ないよう十分な断熱を行ないます。
- ストレーナはサービスできる所へ設置します。
- ストレーナ及び現地の配管部分には、十分な断熱を行ないます。（発泡ポリエチレン比重0.03肉厚9mm以上）  
不十分な場合は、露タレ、冬期の凍結破損の要因になります。

### ⚠注意

供給水圧が高いと、水漏れなど故障の原因となります。また、供給水圧が低いと、水量不足によるエレメント劣化の原因になりますので、必ず0.05MPa～0.5MPaの範囲でご使用ください。

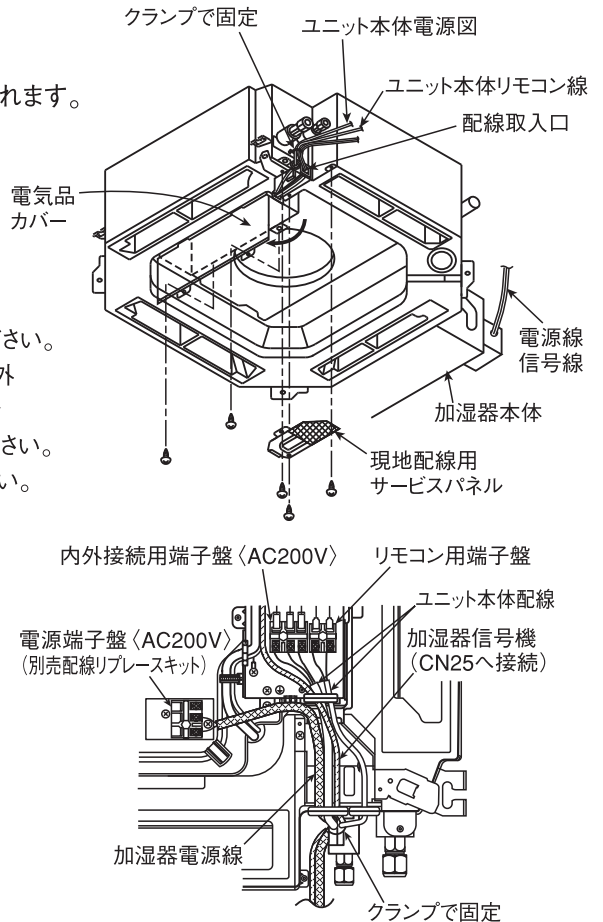


## 6 室内ユニット本体への配線接続

- 加湿器に接続されている電源線と信号線を室内ユニット本体へ取り入れます。

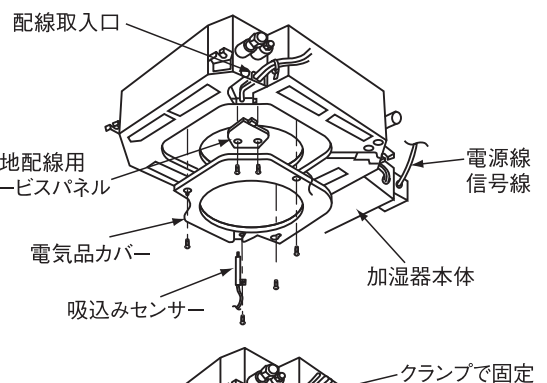
### Bタイプ機種の場合

- 現地配線用サービスパネルを取外す(ネジ3本)
- 電気品カバーを取外す(ネジ2本)〔仮掛け可能〕
- 配線を、配線取入口からユニット内に入れる
- 配線を端子盤に確実に接続(右図参照)
  - A制御機種の場合…内外接続用端子盤の「S1」「S2」端子へ接続してください。  
但し、電源配線接続方式が内外別受電方式または室外ユニットより室内ユニットに電源を供給する方式の場合は電源端子盤(別売)の「R」「S」端子へ接続してください。
  - 上記以外の機種の場合…電源端子盤の「R」「S」端子へ接続してください。  
※サービス時を考慮して、電気品箱をユニットの下に降ろすための余裕を配線に持たせてください。
- 配線をユニット側面のクランプで固定
- 取外した部品を元通りに取付け



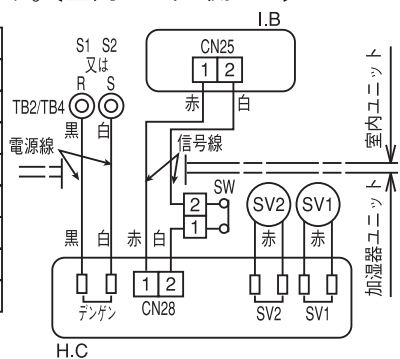
### Aタイプ機種の場合

- 現地配線用サービスパネルを取外す(ネジ2本)
- 吸い込みセンサーを取外す(ネジ1本)
- 電気品カバーを取外す(ネジ3本)〔仮掛け可能〕
- 配線を、配線取入口からユニット内に入れる
- 配線を端子盤に確実に接続
- A制御機種の場合…内外接続用端子盤の「S1」「S2」端子へ接続してください。  
但し、電源配線接続方式が内外別受電方式または室外ユニットより室内ユニットに電源を供給する方式の場合は電源端子盤(別売配線リプレースキットまたはヒーター電源端子盤)の「R」「S」端子へ接続してください。
- 上記以外の機種の場合…電源端子盤の「R」「S」端子へ接続してください。  
※サービス時を考慮して、電気品箱をユニットの下に降ろすための余裕を配線に持たせてください。
- 配線をユニット側面および電気品箱内のクランプで固定
- 取外した部品を元通りに取付け

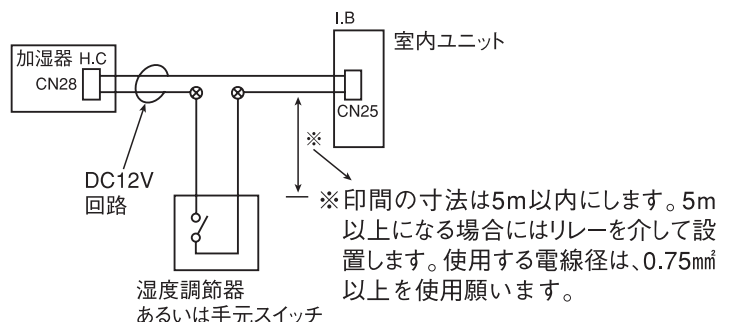


- 電気配線図に基づいて配線接続をします。〔室内ユニット側のみ〕

|     | 記号      | 名称            |
|-----|---------|---------------|
| 本体  | TB2/TB4 | 端子盤〈電源 内外接続線〉 |
|     | I.B     | 室内制御基板        |
| 加湿器 | CN25    | コネクタ〈加湿器〉     |
|     | H.C     | 加湿器制御基板       |
|     | CN28    | コネクタ          |
|     | SV1     | 電磁弁〈給水〉       |
|     | SV2     | 電磁弁〈保護〉       |
|     | SW      | フロートスイッチ      |



- 湿度調節器あるいは手元スイッチを使用する場合の配線変更(現地手配)においてコネクタCN25とCN28に接続している線間に直列に入れます。



## 7 室内ユニットの機能設定

加湿器を取付けた場合、リモコンまたは室内制御基板で室内ユニットの機能設定を変更してください。

### (1) A制御機種の場合

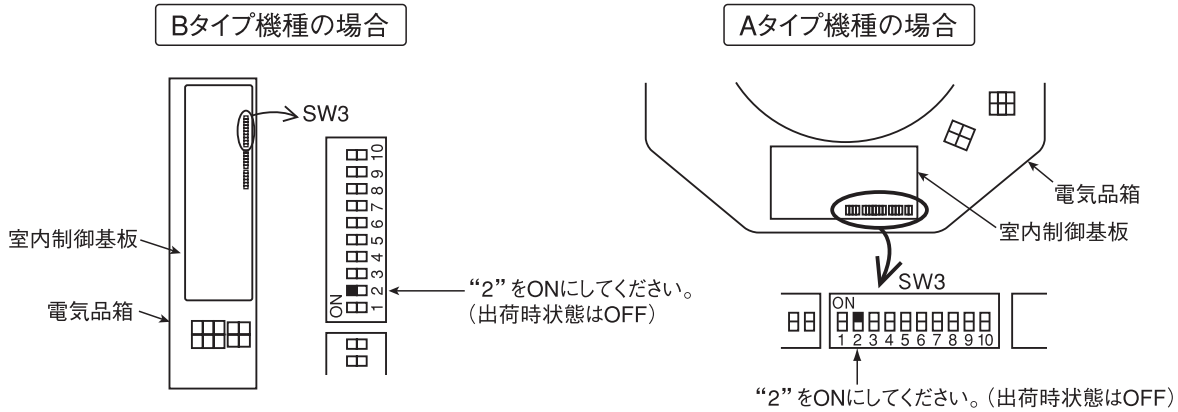
リモコンからの設定となりますので、別紙の説明書に従って  
“加湿器あり”の設定(モード番号:13,設定番号:02)にしてください。

### (2) 上記以外の場合

室内制御基板のディップスイッチを下図のように設定します。

**注意**

室内ユニットの設定をする。  
設定に不備があると加湿器が正常に動作しません。また、室内ユニットからドレンが排水されず、水漏れの原因となります。



## 8 注意書の取付け

据え付け後、付属のご注意ラベル⑨を空調機本体の手元開閉器の付近に取付けておいてください。

### ご 注 意

このエアコンには、加湿器が組込まれています。開閉器を「OFF」にする場合には、必ず、加湿器の止水弁(元バルブ)を閉じてください。

開閉器を「OFF」にしますと、加湿器が故障した場合の水もれ防止機能がはたらかなくなり、水もれの原因となります。

## 9 試運転

- (1)もう一度、結線が正しく行われているか確認してください。
- (2)給水配管が、確実に接続されているか確認してください。
- (3)給水配管の止水用バルブを開いてください。(この時、加湿器に水はまだ供給されません。)
- (4)電源を入れて室内ユニットを暖房試運転の状態にしてください。  
(試運転のしかたは室内ユニットに付属の据付説明書を参照してください。)  
(この時、給水が始まり、加湿運転が始まります。)
- (5)ドレン口透明可視化部及びドレン配管の最終出口部で室内ユニットからの排水を確認してください。
- (6)暖房試運転開始後、数分ごとに給水用電磁弁の作動音(カチッという音)がしますのでそれを目安に約20分間正常な加湿運転をしているか、確認してください。
- (7)試運転が終わりましたら、止水用バルブとストレーナの位置をお客様に説明してください。

**注意**

試運転時、水漏れ、水飛び、露落下等が無いことを必ず確認してからお客様に引き渡してください。

## 10 運転のしかた

加湿器を取付けた空調機を暖房運転にすれば、自動的に加湿運転します。  
室内ユニット本体に付属の取扱説明書を参照して、暖房運転してください。

## 11 保守・点検

### △注意

加湿器の保守はお買い上げの販売店もしくは専門の業者に依頼してください。  
お客様自身で行い、不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

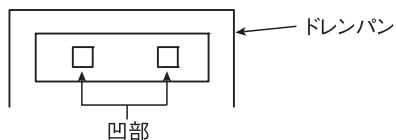
定期的なメンテナンスが必要です。次の要領で行なってください。

#### (1)加湿エレメントの交換

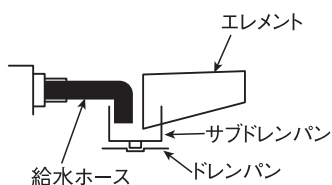
長時間使用しますとエレメントは劣化し、能力が低下します。  
使用環境によっても異なりますが、3年を目安に交換してください。

#### 作業手順

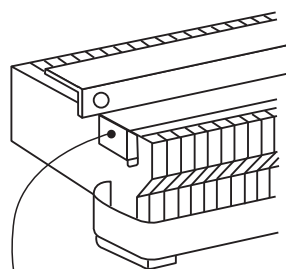
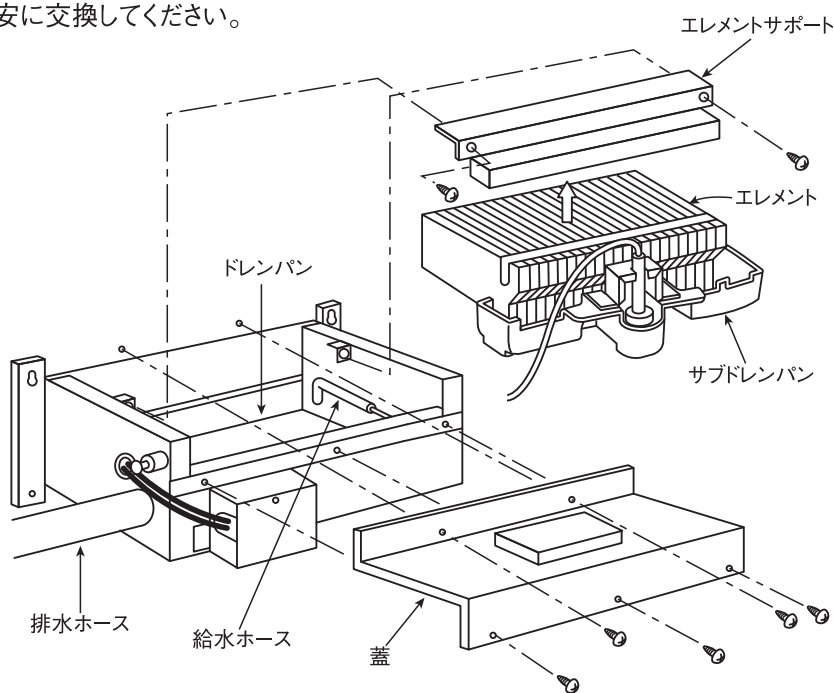
- ①蓋を取り外す。(ネジ5本)
- ②エレメントサポートを取り外す。(ネジ2本)
- ③エレメントをサブドレンパンごと取出す。
- ④エレメントを交換して元に戻す。



\*ドレンパンの位置決め用凹部とサブドレンパンの凸部を合わせてセットしてください。



\*給水ホースが必ずサブドレンパンの中へ入るようにしてください。



エレメント両端をはさみこむようにして固定すること。

#### (2)ストレーナの清掃

…1シーズンに一度清掃してください。

#### (3)加湿器ドレンパン、サブドレンパン、排水ホース、室内ユニット本体ドレンパンの清掃

…定期的に清掃してください。(目安1回/年)